

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立蒲田高等学校	柔道部	

1 当該部活動の基本方針

柔道は、身体接触を伴う競技であり、もっとも感染リスクが高い競技であり、部員への感染対策徹底を周知している。指導者・部員共に、コロナ感染症における十分な環境整備から自己管理まで徹底して感染対策を行う。  
活動前の体調管理の徹底、体調不良者は必ず事前に顧問に連絡し、直ちに下校。練習参加は不可。  
活動前後に道場内の消毒、窓を開けて換気を行う。水分の回し飲みはしない。

2 活動場所における感染症対策

対面、身体接触を伴う競技なので、飛沫感染を避けるための工夫練習を施している。  
打ち込み、乱取りはフルフェイス頭上からかぶるものを使用。  
マスクは二重にして着用。またゴム手袋をはめて、相手の道着を掴んでいいものとする。  
但し、練習中の発声は行わないように、お互いが気を付けるように注意する。  
また指導者、部員とのアドバイスミーティングは距離をとって行う。

3 活動前後の感染症対策

活動前後の道場内の換気、消毒の徹底。個人消毒の徹底。  
着用する道着の消毒。練習後は体全体を各自がタオルで拭く。  
トレーニング器具の消毒の徹底。

4 部室・更衣室等の利用計画

密を避けるために、更衣室利用なし。  
男子部員のみなので、道場内で大幅に間隔を取って、会話をせずに着替え場所を確保。  
着替えた場所を各自が消毒。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

柔道は身体接触を伴うもっとも感染リスクが高い競技であることは十分に自覚し、理解して活動に真摯に取り組んでいる。各自が小まめな手指の消毒の徹底、練習後のうがい、手洗いを実施。  
また、活動後は速やかに着替えて、直ちに下校することを、外部指導委員とともに、指導を徹底している。

※ 各学校の実態等に合わせ、様式を適宜変更してください。